

<p>研修名</p>	<p><b>自殺対策支援者研修「メンタルヘルス・ファーストエイドー ジャパン(MHFA-J)実施者(エイダー)研修会</b></p>
<p>講師</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手医科大学医学部 精神神経科学講座 講師 大塚 耕太郎 先生</li> <li>・国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 成人精神保健研究部 災害等支援研究室長 鈴木 友理子 先生</li> <li>・九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学分野 九州大学 先端融合医療レドックスナビ研究拠点 特任准教授 加藤 隆弘 先生</li> <li>・三重県立こころの医療センター診療部 医長 長 徹二 先生</li> </ul>
<p>開催日時</p>	<p>1日目 平成 28 年 7 月 21 日 (木) 9:30~16:30 2日目 平成 28 年 7 月 22 日 (金) 9:30~16:30</p>
<p>開催場所</p>	<p>北九州市立総合保健福祉センター 2階 講堂</p>
<p>参加者数</p>	<p>34名(7/21)、35名(7/22) *内訳:医師・保健師・看護師・臨床心理士等</p>
<p>研修の 内容等</p>	<p>・うつ病・精神病性障害・不安障害・物質関連障害(アルコール/薬物)の4疾患に関する講義や演習(ロールプレイ)の進め方について、どのようにレクチャーを行うか、どのようにロールプレイを行うかなど実際に体験し学んだ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義を通じての学び、演習を通じての体験や学びが出来たと思った。今までは自分が講義を受ける側としての立場が多かったが、今回の講義や演習を通じて、悩んでいる人への対応方法が今まで以上に理解を深めることが出来たということ、ファシリテーター、インストラクター側としての体験を通じて、それぞれの役割の重要性や、それぞれの目線になって考えを深めることが出来たと思った。</li> <li>・職場での対応について悩んでいたことが解決できるような研修でした。</li> <li>・地域で研修を企画するときにぜひ活用したいと思いました。</li> <li>・いろいろな職種の方々と学べて多様な視点を得ることができました。</li> </ul>